

プリュームロッシュ仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成20年 9月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1 液型透明シーラー	16kg/缶	約 80～106 ㎡/缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1 液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75～100 ㎡/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1 液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80～106 ㎡/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリース</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg/ 缶	約 6 ㎡/缶
骨材	JF-3	寒水石(白竜)3 厘	20kg/袋入り	約 23 ㎡
	JF-72	玉石桃山 7 厘	20kg/袋入り	約 23 ㎡

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※「ジョリハット材」の使用目安温度は-6℃～10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリハットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20～25 m²/セット)

＜主な施工道具＞

- [illegible]

<下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ（平滑）として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

＜プリウムロッシュ仕上げ施工方法＞

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410 の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

配 合	<u>JQ (W) -650シリーズ</u>	20kg
	清 水	3~4リットル
塗 布 量	1.0kg/m ²	
吹 圧 力	5~7kgf/cm ²	
施工道具	リシンガン 口径φ4~6mm	

※左官業者の場合は、ジョリパットを無希釈で
1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布
する。(下ごすり)

JQ (W) 650-56-01
(JQ (W) -650 プリウムロッシュ)

夏期 4 時間以上

冬期 1 2 時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JQ (W) - 650 シリーズ</u>	20 kg
	JF-72	8 kg
	JF-3	8 kg
	清 水	1 斗
塗 布 量	約 4.0 kg/m ²	
吹 圧 力	4 ~ 6 kgf/cm ²	
施工道具	タイルガン 口径φ 10mm	

追いかけ

4. ローラー押さえ

- ・ 灯油に充分浸したセミリップルローラー (JR-56) を軽く横に転がし、横のラインをつける。(図-1 参照)
ローラーについたジョリパットはこまめにウエス等で拭う。

追いかけ

5. ヘッドカット (押さえ)

- ・ 灯油に充分浸したカットローラー (JR-26、27) でジョリパットの凸部を軽く押える。

<施工のポイント>

- ・ タイルガンで配り吹きする際、小さな粒状模様がでるよう詰めて吹く。
塗布量が多すぎると、次にローラーで押さえたとき、ローラーの中心部に塗材が付着し、平滑な部分が多くなります。
- ・ パターン付けは、セミリップルローラー（JR-56）に灯油をつけ、軽くローラーを転がし、横のラインをつけます（図-1）。ローラーの動かす距離は30cm程度とし、強く押さえてローラーの凹凸を転写するのではなく、全体に横のラインが出るように軽くパターン付けをします（図-2）。強く押さえすぎると、ローラーの中心部にジョリパットが付着し、平滑につぶれた部分が多く発生します。
- ・ ローラーにはこまめに灯油を付け、ローラーの中心部にジョリパットが付着しないように注意する。（黒い部分の表面にはジョリパットがつきます。）
- ・ セミリップルローラー（JR-56）は使用時にのみ灯油に浸し、使用後は乾燥してください。ローラーを灯油に漬けたままにするとスポンジ部が剥がれたり、劣化しやすくなります。

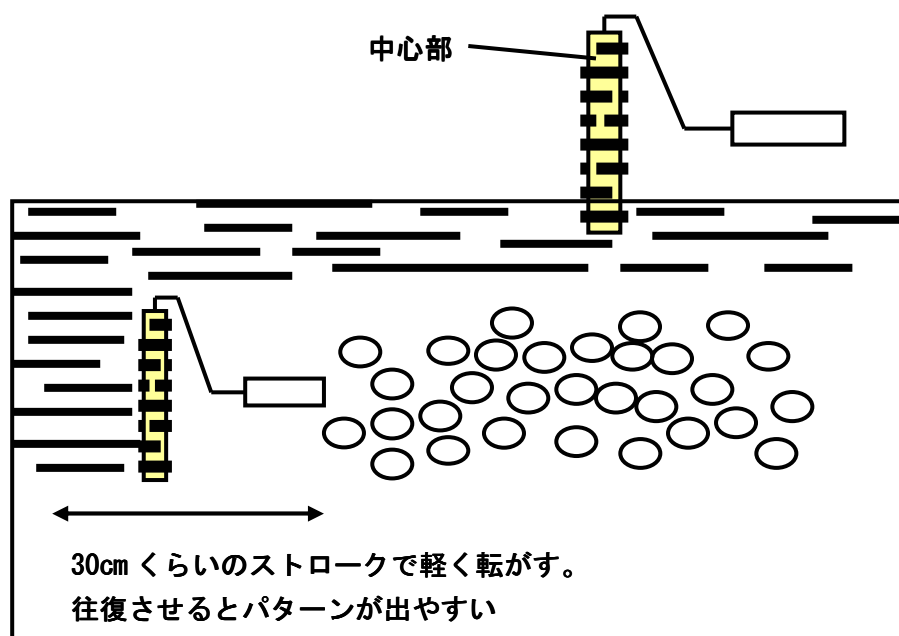


図-1

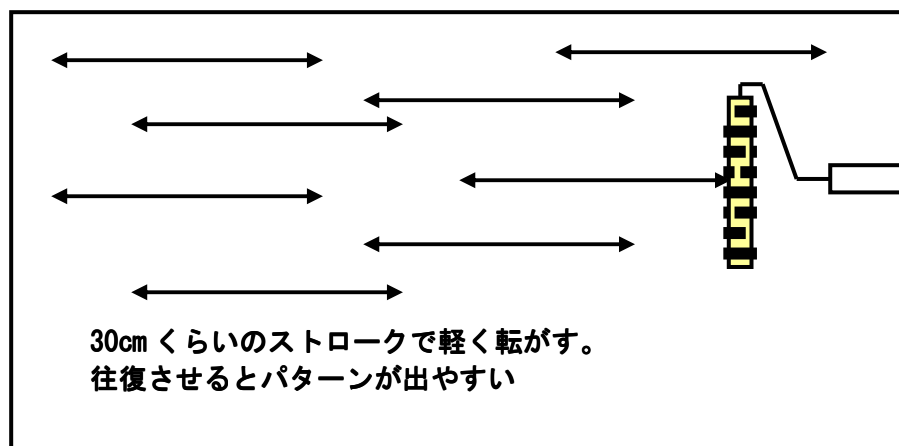


図-2

- ・ ヘッドカットローラーは灯油に充分浸した後、パターンの凸部を軽く押さえるよう転がす。

＜施工の注意事項＞

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ この仕上げは天然石を使用しているため、見本と色目が異なることがあります。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上